

明石市

国際協力海外レポート

中西 敦士（なかにし あつし）【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：フィリピン共和国 ソルソゴン州グバット町
職種：村落開発普及員
赴任期間：2011年3月～2013年3月（予定）



報告者について：

昭和58年生まれ、和坂小学校→白陵中学・高校→慶應義塾大学を卒業、コンサルティング会社に4年間勤めた後、JICA青年海外協力隊としてフィリピンに赴任しています。

任務の様子：

グバット町の特産物である、日本の紙幣の原料としても使われている、マニラ麻の販売量を増やし、マニラ麻農家の収入向上を支援するのが私の任務です。グバット町の農家の平均年収は日本円で約26,000円程度です。具体的には、マニラ麻を原料としたジーンズ、「MAASA」の開発、販売活動をしています。また、伊藤忠商事株式会社より資金援助を受け、マニラ麻農園の生産性の向上支援をしています。これらの活動により、数年後には当地方の約3万世帯のマニラ麻農家の平均年収は、約16%向上することが見込まれています。



※MAASA ジーンズの発表会の様子



※マニラ麻農園の苗付けの様子

(参考：<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/news/2012/120611.html>)

日々の暮らし：

休日は近くのマングローブ林やサンゴが広がる海を散策、良い波が来るとサーフィンをして楽しんでいます。



※マングローブ林散策



※サーフィンの様子

任地の様子：(美しい自然の画像のみ)

任地は、エビ・カニ・ウニといった甲殻類の産地でもあり、休日には甲殻類パーティをしています。



※甲殻類パーティの様子



2012/8/21 JICA 青年海外協力隊員 中西 敦士